

平成22年1月31日

従業員各位

株式会社 徳 ・株式会社 傳六
ノリックス株式会社・有限会社 和公
代表取締役 鷲岡和徳

前略、今月も業務に専心いただきありがとうございます。

昨年に引き続き年末のおせち料理製造、販売におきまして、関わっていただきました従業員の皆様には御礼申し上げます。事前の準備を周到に行ったために大きな混乱やクレームもなく得意先も増え、前年比1.5倍の売り上げを達成することができました。続々と帰ってくるお客様アンケートも「素材の味を生かした味付けで本当に美味しかったです」「言うことなし、貴社繁栄と発展を祈ります」「さすがプロの仕事ですね」などお褒めの言葉をたくさん頂きました。又、和公では年末年始には花園ラグビー場でラグビー弁当とラグビークッキーをたくさん販売いたしました。特にクッキーは周りのどの店舗よりも人気で欠品が出て正月に湯藤シェフに追加製造をお願いいたしました。モノがよく売れる、忙しいということは私どもの会社が世の中から必要とされていることの証明です。それぞれの部署の方が自分の役割をきっちりと果たしてくれている成果と理解しています。現在、春に向けての仕出し料理の献立やお弁当の内容の見直しを進めています。時代が厳しくなりお客さまが本当に価値のある商品しか選んでいただけないようになっていきます。世の中すべてが何となくお金を使うことをしなくなっています。商売ですからさまざまな宣伝広告や販促をかけて私どもを知らないお客様を取り込んでいかなければなりません。そこでいつも言うことですが私たちの出来る最も効果的な新規のお客様を獲得する方法は今のお客様に最高の料理とサービスを提供することです。うちの店しかないような価値ある商品をお客様の元に届けることです。仕出しだから冷たくて当たり前というのではなく、そんな先入観を覆せるような商品やメニューの開発、低価格路線のお店がまねのできないものを適正価格でお客様に提供できることを模索していきます。流行っているから自分たちもやろうとか、これがだめなら別のことをやろうという外食チェーンにありがちな発想は私にはありません。あくまで自分たちが選んだフィールドで勝負していけるか、そこに熱い志と信念を持って仕事ができるかというところがポイントです。飲食店だけではなく時代はどんどん変化していきます。数年前に大繁盛していた店が今や閑古鳥が鳴いていたり、その業態自身が時代に則さないものになっているものも多く見受けられます。つまり会社経営も商品展開も変革のスピードが求められています。この商品は売れているからずっとこのままでいうのではなく店舗やブランドのコンセプトを毎年新たにしながら新しい事に挑戦する。常に新しいものを打ち出し続けることで時代のニーズにこたえられると思います。そこに私たちの会社の社会に対する存在意義があると考えます。インフルエンザ、ノロウイルス流行の季節です。手洗いを励行して健康管理よろしく願いいたします。

「私たちはお客様のために常に新しいことに挑戦し、食生活に新たな価値を創造しつづけます。」

すべては自分のために。

すべてはお客様のために。

すべては会社のために。

すべては社会のために。

来月も一緒に頑張りましょう

草々